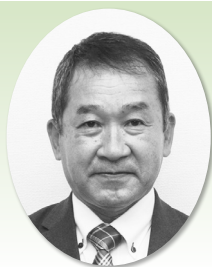


子どもの体力と成人の健康維持について



みらい創政 ● 奥村 幹郎 議員

問 コロナ禍における子どもたちの体力状況と体力・運動能力の向上に向けた施策について

答 湖南省の問題点や特徴の分析は、

問 湖南省の問題点や特徴の分析は、

答 全国調査同様に本市でも低下しました。握力や投力は、全国平均以下、走力は平均以上でした。

問 運動の機会や場所の提供は、

答 業間休みや昼休み体育館などの施設を開放し運動場以外でも楽しんで体を動かせる場所を提供しています。

問 各校で実施している取り組みは、

答 朝の10分間運動、業間マラソンのほか、子どもたち主体の運営で運動に取り組んでいる学校もあります。

問 成果およびその共有は、

答 市内体育主任会にて実践の成果を共有し

ています。

問 保護者との情報共有・提供は、

答 健康管理表の回収と状況把握を担任と養護教諭を中心に行っています。体力・運動能力の傾向については、学校保健委員会で情報提供を行っています。

問 コロナ禍における健康診断の受診状況は

答 受診者数の動向と対応は、

問 昨年度は激減しましたが、本年度はコロナ禍前の状況に戻りつつあります。緊急事態宣言発令当初は集団検診の中止をせざるを得ない状況でしたが、健診機会確保のため後に改めて実施しました。

問 今後の受診者向上の施策は、

答 医療機関での検診を増やすなど、受診しやすい体制づくりに努めます。

予約制小型乗合自動車運行事業について



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 今春から一部地域で始まる予約制小型乗合自動車運行事業（Ⅱデマンド交通）について、その利便性は、

答 バスと違って各停留所経由ではなく目的地停留所まで直接移動できるため所要時間が大幅に短縮でき、帰りも予約しておくことで、バスのように待ち時間はなく、利用者の任意の時間に乗車可能です。

問 また、従来は物理的にバスが通行できる場所だけが停留所でしたが、今後は小型乗合自動車が行ける所なら諸条件があります。停留所は設置できます。

問 本市のデマンド交通の課題は、

答 中心部エリア同士での運行ができないので乗り継ぎしてもらうこと、停留所設置場所でしか乗降できないことなどが、対象地

域での説明会や関係団体との意見交換会のご意見を踏まえ、各区长等と連携して停留所増設等の対応により課題解決に取り組めます。

問 デマンド交通の実証実験地域で実験がうまくいかなかった場合、デマンド交通も無い、バスも無い「公共交通の無い地域」になるのではないかと不安の声があるが、市の考えは、

答 そのようなことにはなりません。デマンド交通もしくはバス事業にて対応していくことを考えています。

問 公共交通の今後の展望や計画は、

答 持続可能な地域公共交通ネットワークの実現のために、今回の実証実験における評価や効果を参考に令和5年度より湖南省地域公共交通計画を策定してまいります。

域での説明会や関係団体との意見交換会のご意見を踏まえ、各区长等と連携して停留所増設等の対応により課題解決に取り組めます。